



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月6日

上場会社名 株式会社 ムサシ 上場取引所 東  
 コード番号 7521 URL <http://www.musashinet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 雅孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 村田 進 TEL 03-3546-7710  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	26,918	1.0	818	△22.2	901	△21.8	633	△11.8
29年3月期第3四半期	26,641	2.1	1,051	53.3	1,152	47.5	718	46.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 725百万円 (△29.2%) 29年3月期第3四半期 1,025百万円 (67.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	85.06	—
29年3月期第3四半期	96.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	43,276	27,347	63.2
29年3月期	41,183	26,860	65.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 27,347百万円 29年3月期 26,860百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,369	8.8	1,170	5.6	1,211	△2.5	836	6.9	112.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	7,950,000株	29年3月期	7,950,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	506,537株	29年3月期	506,463株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	7,443,496株	29年3月期3Q	7,443,537株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調が続きましたが、米国の政策動向や欧州の政治リスク及び東アジアの地政学的リスクの高まりなど海外経済の懸念材料により、先行きの不透明感を払拭できない状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの各セグメントの概況は以下のとおりであります。

#### (情報・印刷・産業システム機材)

情報・産業システム機材は、スキャナー等の電子化機器の販売は順調でしたが、文書のデジタル化事業において大口案件が減少したほか、民間企業からの大型商談の遅延もあり低調に推移いたしました。

印刷システム機材は、CTPなど印刷機器の販売が需要低迷と競合激化の影響により大きく落ち込みました。また、販売減少に伴い収益性が低下いたしました。

#### (金融汎用・選挙システム機材)

金融汎用システム機材は、金融機関や流通業における貨幣処理機器の更新の遅れと、セキュリティ機器の商談遅延の影響を受け低調に推移いたしました。

選挙システム機材は、東京都議会選挙をはじめ各地方選挙向けに機器や投票システム等の販売が順調だったほか、昨年10月に衆議院選挙が実施されたことにより同選挙向け機材販売が好調に推移いたしました。

#### (紙・紙加工品)

紙・紙加工品は、医薬品や化粧品向け紙器用板紙の販売は伸長しましたが、印刷用紙の販売が需要減少の影響を受け低迷いたしました。また、昨年9月に連結算入した新子会社エム・ビー・エス(株)における感圧紙等の販売は概ね順調に推移いたしました。

#### (不動産賃貸・リース事業等)

不動産賃貸業、リース事業等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高269億18百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益8億100百万円(前年同期比22.2%減)、経常利益9億100百万円(前年同期比21.8%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億33百万円(前年同期比11.8%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は329億400百万円となり、前連結会計年度末より13億6300百万円増加いたしました。

増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加(17億2500百万円)及び棚卸資産の増加(8億8300百万円)、減少の主な要因は、現金及び預金の減少(13億8900百万円)であります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は103億7200百万円となり、前連結会計年度末より7億3000百万円増加いたしました。

増加の主な要因は、連結範囲の変更に伴うのれんの増加(3億7100百万円)及び投資その他の資産の「その他」の増加(3億5000百万円)であります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債の残高は131億8300百万円となり、前連結会計年度末より11億5900百万円増加いたしました。

増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加(11億5600百万円)及び電子記録債務の増加(2億1000百万円)、減少の主な要因は、未払法人税等の減少(1億8400百万円)であります。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債の残高は27億4500百万円となり、前連結会計年度末より4億4700百万円増加いたしました。

増加の主な要因は、固定負債の「その他」の増加(4億1000百万円)であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は273億47百万円となり、前連結会計年度末より4億86百万円増加いたしました。

増加の要因は、親会社株主に帰属する当期純利益6億33百万円及びその他包括利益の増加(92百万円)、減少の要因は、剰余金の配当2億38百万円、であります。

この結果、自己資本比率は63.2%(前連結会計年度末は65.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月7日の「平成29年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,615	18,225
受取手形及び売掛金	9,020	10,745
商品及び製品	1,555	2,632
仕掛品	77	80
原材料及び貯蔵品	759	562
その他	518	662
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	31,541	32,904
固定資産		
有形固定資産	3,290	3,265
無形固定資産	137	495
投資その他の資産	6,213	6,612
固定資産合計	9,641	10,372
資産合計	41,183	43,276
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,365	5,521
電子記録債務	2,697	2,907
短期借入金	3,516	3,516
未払法人税等	312	127
賞与引当金	379	218
その他	753	892
流動負債合計	12,023	13,183
固定負債		
退職給付に係る負債	206	188
役員退職慰労引当金	1,188	1,252
その他	903	1,304
固定負債合計	2,298	2,745
負債合計	14,322	15,929
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	23,741	24,136
自己株式	△576	△576
株主資本合計	26,378	26,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	494	511
退職給付に係る調整累計額	△12	62
その他の包括利益累計額合計	481	573
純資産合計	26,860	27,347
負債純資産合計	41,183	43,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	26,641	26,918
売上原価	20,816	20,873
売上総利益	5,824	6,045
販売費及び一般管理費	4,772	5,227
営業利益	1,051	818
営業外収益		
受取利息	22	18
受取配当金	57	55
持分法による投資利益	7	15
貸倒引当金戻入額	1	—
その他	39	28
営業外収益合計	129	118
営業外費用		
支払利息	24	23
子会社株式取得関連費用	—	8
その他	3	2
営業外費用合計	28	34
経常利益	1,152	901
特別利益		
投資有価証券売却益	—	180
特別利益合計	—	180
特別損失		
会員権評価損	3	—
減損損失	4	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純利益	1,145	1,082
法人税、住民税及び事業税	380	352
法人税等調整額	46	97
法人税等合計	426	449
四半期純利益	718	633
親会社株主に帰属する四半期純利益	718	633

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	718	633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	237	10
退職給付に係る調整額	69	75
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	5
その他の包括利益合計	306	92
四半期包括利益	1,025	725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,025	725



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	16,791	5,236	4,450	163	26,641	-	26,641
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	3	88	-	211	303	△303	-
計	16,794	5,324	4,450	374	26,944	△303	26,641
セグメント利益又は損 失(△)	△115	1,051	△2	117	1,050	1	1,051

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	15,357	5,554	5,855	151	26,918	—	26,918
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	4	27	—	212	244	△244	—
計	15,361	5,581	5,855	364	27,163	△244	26,918
セグメント利益又は損 失(△)	△299	1,029	△15	101	816	2	818

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、エム・ビー・エス株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は「情報・印刷・産業システム機材」において7億33百万円、「紙・紙加工品」において22億70百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「情報・印刷・産業システム機材」「紙・紙加工品」セグメントにおいてエム・ビー・エス株式会社の株式取得に伴い、第2四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては397百万円であります。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。